

います。

この十年近く、八月九日、原爆中心地で行われる慰霊の式典で、長崎市長が読み上げる平和宣言文の起草委員をお引き受けしていただきますのも、あの戦後の匂いの残る浦上の地で、語るに語れない想いを胸に抱きながら生きておられた方々のお顔が、お一人お一人、胸の奥に焼きついてしまったからなのです。まるで、原爆の熱線

が壁に焼きつけた、浦上の人々の人影のように……………。

体験が物語りとなり、やがて単なる歴史の一頁となる——おそろしいことです。もし「戦争」というメビウスの環^わがあるならば、この環^わを断ち切りたい。アメリカが原爆を落としたという事実を風化させてはなりません。日本が、中国を、朝鮮を戦場とし、侵略した事実を忘れてはならないように——。